

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童発達支援 えくぼ			
	2025年3月1日 ~ 2025年3月24日			
	対象者数	16名	回答者数	16名
	2025年3月1日 ~ 2025年3月24日			
	対象者数	8名	回答者数	8名
	2025年3月25日			

	事業所の強み	工夫している取組	さらに充実を図るための取組
1	保育士有資格者数が多いこと。	保護者との日々の連絡ノートを通しての情報交換および相談。	預かり保育時間の延長および行事の推進。
2	職員の児童福祉事業における実務経験平均年数が高いこと。	作業療法の補完としての数多い制作課題の実施。	運動クラブの導入。
3	保育所との交流事業がしやすい環境であること。	専門指導者による、就学前先取り学習および就学後の個別的学习の補完。	地域児童クラブ等とのインクルージョンの拡充。

○分析結果

	事業所の弱み	事業所の課題の要因	改善のための工夫点
1	車両送迎の人員を増やして希望者全員の送迎を可能にすることを旨とする。	運転技術に自信のないと訴える職員が多い。	手当額を増やしてモチベーションを上げる。
2	人口過疎地域かつ交通の便が悪い。遊び場がない。	市街化調整区域であること。	自然豊かで広大な土地があることから、これらを活用したサービスを実施する。
3	十分な遮音可能な静養室がない。	年齢の小さな子どもを多くお預かりすることから、安全配慮の観点から音を含め視覚ができることを避けているため。	対象児には、可能であればイヤマフの使用を勧める（用意済）。